

# 施策分析シート（平成30年度）

No1

<b>施策名</b>	国内・海外都市との交流の推進	<b>施策No</b>	09-02	<b>部課名</b>	地域文化スポーツ部文化交流推進課
				<b>課長名</b>	谷井 内線 2520
<b>関連部課名</b>	総務企画部総務企画課				
<b>行政評価</b>	<b>分野</b>	文化創造都市			
<b>事業体系</b>	<b>政策</b>	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進		

**目的** 全国各地域の自治体と幅広い交流を進め、より豊かな区民生活の実現を目指すとともに、相互の都市の活性化を図る。  
海外都市との国際的な交流を深め、多文化が共生する魅力あるまちを目指す。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
	地域への愛着	2.85	2.92	2.90	荒川区の文化や特色に愛着や誇りを感じますか？		
	文化的寛容性	2.60	2.64	2.63	お住まいの地域に、文化や言語が異なる人々への思いやりや寛容さがあると感じますか？		
標	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明	
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み		目標値(38年度)
	国内交流都市ツアー参加者数(人)	-	98	91	150	150	H28年度より、国内交流都市ツアー開催。
	国内交流都市との連携事業数(事業)	25	25	26	26	30	
	通訳ボランティア登録数(人)	-	110	150	155	300	
	海外都市交流事業参加者数(人)	299	301	305	310	320	バスハイク・華道・茶道・着付・料理教室、ウィーン派遣高校生等

（単位：千円）

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
	給与関係費	38,145	43,242	5,097	地方税	0	0	0	
	物件費	28,620	18,962	9,658	国庫支出金	8,414	7,490	924	
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	12,764	5,240	7,524	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	1,000	2,000	1,000	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	9,414	9,490	76	
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,557	7,535	5,978	行政収支差額(a)-(b)=(c)	71,672	65,489	6,183	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	81,086	74,979	6,107	通常収支差額(c)+(d)=(e)	71,672	65,489	6,183	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	71,672	65,489	6,183	
貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	28年度	29年度	差額			28年度	29年度	差額	
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	1,306	1,631	325	
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
	土地	0	0	0	固定負債	10,327	15,699	5,372	
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	10,327	15,699	5,372	
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0	
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	11,633	17,330	5,697	
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	11,633	17,330	5,697	
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	11,633	17,330	5,697	
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
	資産の部合計	0	0	0					

### 財務諸表に関する特徴的事項等

行政費用として、物件費及び補助費等の割合が高くなっている。内訳としては、国内及び海外交流都市との交流にかかる経費が多くを占めている。前年度と比較すると物件費、補助費等が減少しているが、これは28年度にオーストリアウィーン市ドナウシュタット区及び韓国済州市との周年事業があったためである。

## 施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>区では、様々な縁や結び付きを契機として幅広い都市間交流を行っている。 海外都市とも、高校生相互派遣や日暮里ファッションショー、スポーツ大会の開催等、文化・スポーツ・教育など様々な面で交流を行っている。 現在もオーストリア共和国ウィーン市ドナウシュタット区、韓国済州市、中国大連市中山区の3都市と交流を行っている。 日暮里駅前ひろば文化・交流事業、全国連携プロジェクトにおける北海道くしろ地域・東京特別区推進事業については、地方創生加速化交付金及び地方創生推進交付金を活用し、実施した。</p>
課題	<p>国内交流都市、特別区全国連携プロジェクトや幸せリーグ等を通じて、全国各地域の自治体との交流が増えてきた中で、お互いに有益な交流を深めていく必要がある。 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機として、海外からの旅行者等の増加が見込まれることから、日本人と外国人の相互理解を深めるとともに、区全体でおもてなしを実現するため、様々な分野における交流を拡大する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>区民が主体となった他自治体との交流を積極的に支援する。生活環境や地域文化の異なる地域との交流を深めることによって、我がまちへの愛着と誇りを醸成するとともに、豊かな自然と触れ合う場など様々な体験をする機会を提供し、豊かな区民生活の実現を図る。 「特別区全国連携プロジェクト」のつながりを活用し、区内でのイベント開催や地域住民相互の交流等を通じて、全国各地域と区内の産業振興や観光振興、地域の活性化等を推進する。 「幸せリーグ」における自治体職員同士の交流を促進し、共通する行政課題についての情報交換や先進事例を取り入れ、新たな施策の立案につなげ、区民サービスの一層の向上を図る。 友好都市や幸せリーグ加入自治体等と災害時相互応援協定を締結し、物資の提供にとどまらず、人の応援、被災者の受入など、様々な助け合いの関係を構築する。 区内のスポーツ団体、文化団体等が、イベント等を契機に他の自治体を訪問・交流することを通じて、それぞれの分野での技能や質の向上、団体や団体活動等の活性化を図る。 海外都市との交流を促進することによって、海外都市に対する区民の関心を高め、相互理解を深めるとともに、多文化共生意識を育み、世界に開かれた街としての荒川区の魅力や活力をより一層高める。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
重点的に推進	重点的に推進	国内外の交流都市の地域特性を活かし区民主体の幅広い交流を行うことに加え、区内在住外国人の支援や交流の充実を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
特別区全国連携プロジェクト	01-01-10	11,776	17,751	7,179	11,519	推進	推進	荒川区を含む東京、全国各地域の持続的な発展、住民の生活の質の維持・向上が期待できるため、優先度は高い。
国内都市交流事業	05-01-03	13,887	20,429	7,695	6,613	重点的に推進	重点的に推進	生活環境や地域文化の異なる地域と交流することにより、まちの魅力と活力を高めていく。
国際交流協会補助	05-01-04	13,497	14,383	4,925	4,274	重点的に推進	重点的に推進	区民主体の国際交流の推進母体として重点的に支援することが必要である。
海外都市交流事業	05-01-05	41,925	22,415	33,162	13,430	重点的に推進	重点的に推進	国際理解、文化振興のため大きく貢献する事業であり、重点的に推進する。
合 計		81,085	74,978	52,961	35,836			